

『三方良し』から SDGsへ。

「商売において売り手と買い手が満足するのは当然のこと。社会に貢献できてこそよい商売といえる」という近江商人の経営哲学。売り手良し、買い手良し、世間良しの『三方良し』はグローバルな発展と共に、『売り手良し、買い手良し、世界良し』へ。



「PREX SDGsプラットフォーム」より Dari K株式会社 代表取締役 吉野慶一氏とインドネシアの農家の方々

日ごろから、PREX事業にご協力いただいている企業の中から、顧客・社員・地域・生産者などあらゆるステークホルダーとの関わりを大切にしている企業の取り組みを紹介するウェブサイト企画「PREX SDGsプラットフォーム」。今号は、このプラットフォームで取り上げた企業・団体を紹介します。PREXは、SDGsをキーワードに協力先の皆さまがつながることを願っています。



インドネシアの農家の方々

カカオを通して世界を変える“強い想い” Dari K 株式会社

国際交流部の児島です。

私たちを癒してくれる「チョコレート」ですが、世界各地のカカオ農家で児童労働や貧困という現実が生じています。そんな中、チョコレートの生産から販売まで、一貫したサプライチェーンを構築し、こだわりぬいたチョコレートを私たちに届けてくれる Dari K。代表取締役の吉野慶一氏は、インドネシアの農家の皆さんと共に悩み共に喜びを共有しながら美味しいチョコレートづくりに力を注いでいます。

ウェブサイト企画「PREX SDGsプラットフォーム」では、吉野社長に、Dari K誕生のきっかけやチョコレートへのこだわりをお聞きしました。今回、私の心に一番残ったことは社会課題に対する Dari Kのアプローチの姿勢です。Dari Kは様々なステークホルダーと仲間になり、協力することを通じてチョコレート製造が抱える環境を変えるための、取り組みを行っています。

「なぜ、社会的に意義があり、環境への配慮も徹底した素敵な活動を1つの企業がこんなにも様々な形で取り組むことが出来ているのだろうか？」と驚きと不思議な気持ちでいっぱいだったのですが、インタビューを続ける中で、「仲間との協働」が大きな鍵になっていることが分かりました。(国際交流部 児島)



実際にカカオ農家を訪問する「Dari K 農園ツアー」。日本からのツアー参加者と現地の子供たちの笑顔。幅広い層から参加があるそうです。



写真:さまざまなチョコレート商品

インタビューの詳細はこちら→





留学生が企業経営や環境に関する取り組みを学んだ。

あらゆる環境ソリューションに関する答えを持つ 株式会社浜田

国際交流部の狭間です。

大阪の高槻市に本社のある株式会社浜田は、産業廃棄物の分別処理を中心に、スクラップ事業、エネルギーソリューション事業を行う環境ソリューション企業です。

PREXの研修でも途上国の行政官や留学生対象の研修事業の中で企業経営や環境に関する取り組みについて講義いただいています。

「お客様のために、環境のために、そして未来のために」の一貫した想いがあり、他国の環境に関する悩み事に対しても、自社のコア技術を駆使して挑んでいます。

2020年からは、西アフリカにあるコートジボワール国を対象に、廃バッテリーのリユース・リサイクル事業を展開すべく調査事業に携わられています。きっかけは、インターンシップに来られていたコートジボワール出身の方からの相談だったそうです。

コロナ禍での海外ビジネス展開の苦勞についてもお聞かせいただきました。ぜひ「PREX SDGsプラットフォーム」からご覧ください。

(国際交流部 狭間)



写真(上)留学生が見学する様子
(下)産業廃棄物の分別処理工場

インタビューの詳細はこちら→





山陽製紙株式会社の原田社長と社員の皆さん。

紙づくりで循環型社会に貢献する 山陽製紙株式会社

国際交流部の奥村です。

私が山陽製紙株式会社の原田社長と原田専務に初めてお会いしたのは、PREXがクレオ大阪と共催で開催している「上本町SDGs大学」で講演いただいた時でした。

山陽製紙が50年後も残る企業でありたいという強い思いを持ってサステナブルな商品やサービスの開発と販売を新規事業として始めたのは2007年です。回収した古紙を工業用クレープ紙に再生するビジネスがメインで、自社による開発は殆んど経験がない中での取り組みでした。

様々な壁を乗り越えたお話をお聞きし、何事も挑戦してみること、アイデアを出してみることが大切だと改めて気づきました。そして、各自の挑戦とアイデアを温かく見守る原田社長のあり方こそ組織にとって必要不可欠な要素なのだと感じました。

経営理念やアイデアのあふれる商品、原田社長のリーダーシップ等々、「SDGsプラットフォーム」に掲載しています。ぜひご覧ください。

(国際交流部 奥村)



写真(上)原田社長と原田専務、
(下)自社開発した「crep ピクニックラグ」

インタビューの詳細はこちら→





大阪市男女いきいき財団の皆さんとPREX国際交流部 児島(右から2番目)

誰もが自分らしくイキイキと輝ける社会へ。 その思いはPREXも同じです。

国際交流部の児島です。

2019年の立ち上げから、「上本町SDGs大学」を共催している、大切なパートナーである大阪市男女いきいき財団に、8月24日、インタビューに伺いました。(クレオ大阪中央にて)

男女いきいき財団とPREXは、活動内容は違いますが、社会をもっとよくしたいという志は同じ。インタビューを通じて、「女性がいきいきと活躍できる世界」を目指す職員個人の思いをお伺いしました。

人権とはひとりひとりが生まれながらに持つ権利。例えばドメスティックバイオレンスなどの暴力、暴言、行動制限、それは人権侵害なので、声をあげてほしい。社会全体で解決すべき課題なので、いつでもどんなことでも相談してほしい。

そんな熱い思いを感じたインタビューでした。

SNSでも相談できるそうです。

女性だけでなく男性の悩み相談もあります。

財団の活動は本当に意義深いもの。

そこで働く人たちは熱い!!

「SDGsプラットフォーム」に

想いと活動が届く記事を皆さんにお届けしています。

(国際交流部 奥村、児島)

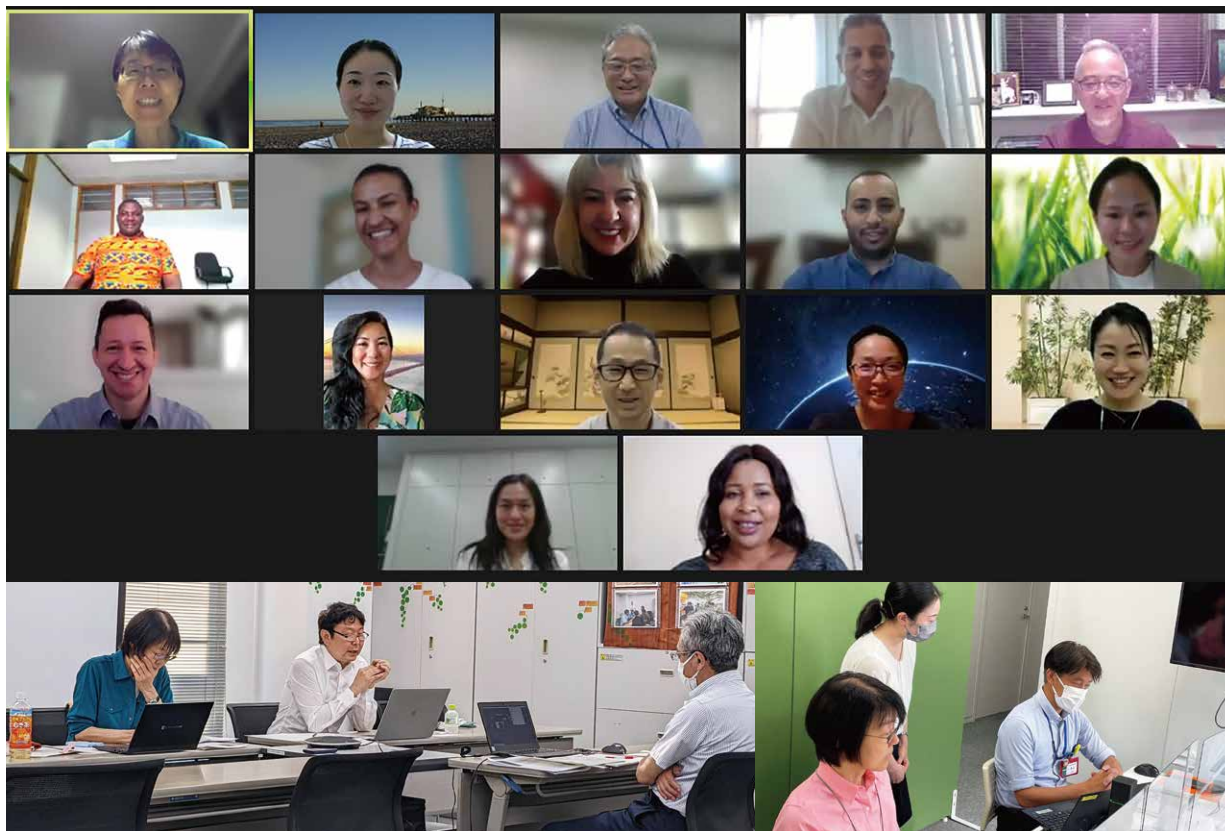


写真はクレオ大阪中央でのインタビューの様子。

SDGs プラットフォームへのご意見、お問い合わせは
PREX SDGs推進チーム(狭間、児島)へ 連絡先:prexhrd-pr@prex-hrd.or.jp

インタビューの詳細はこちら→





ヨルダン、チュニジア、マラウイ、ブラジルから 時差を乗り越えて参加。(オンライン研修)

国際的なバリューチェーンや自国産業の強みを俯瞰しながら、具体的な商品開発・ブランディング、効果的なプロモーション、市場調査・分析等のマーケティング戦略を学ぶことを目標に、途上国の輸出振興に関わる9名の研修員がJICA 先進国市場を対象にした輸出振興/マーケティング戦略(A)に参加しました。

先進国市場ニーズの把握、「売れるものをつくる」視点と「売るノウハウ」、自国のユニーク、且つ高品質な商材の発掘など、3週間にわたり、輸出振興につながる学習や検討に取り組んだ後、最終週には集大成として、各自「アクションプラン」の立案とその発表を行いました。

日常の業務から切り離され、研修に集中できる“訪日研修”とは異なり、通常業務を抱えながら且つ10に上るオンデマンド学習とその“Q&Aライブセッション”に対応した研修員への負荷は大きかったのですが、ライブセッションへの出席率は高く、また課題提出にもしっかり対応し、その熱心な研修への取り組み姿勢には感銘を受けました。(時差の関係から、ブラジルの研修員は、午前5時=日本時間午後5時からの研修参加でした。)

研修員全員が、今回一生懸命取り組んだ学習成果を、それぞれの国で具体的に大きく実らせてくれることを心より願っています。(PREX 小河、狭間)

- ★ 日程: 2022年6月13日～2022年7月8日
- ★ 参加者: 輸出促進業務に携わる政府・公的機関、地方自治体の職員及び商工会議所、業界団体等、民間組織の管理職 4カ国9名
- ★ 参加国: ヨルダン、チュニジア、マラウイ、ブラジル
- ★ コースリーダー: 関西大学経済学部 後藤健太教授
- ★ 委託元機関: JICA関西
- ★ 講師・協力先(敬称略 順不同)
JETRO、国際開発機構(FASID)、神戸市経済観光局、住友電気工業、Y Inc.



日本企業で働く軸となる4つのテーマ

- ①経営理念に則した行動 ②カイゼンと5S
③仕事のモチベーションとチームワーク ④人を育てること

日本企業の風土や文化を理解し、現場で力を発揮できる教育プログラム。参加者募集中！

国際交流部 佐賀です。

「ベトナム人リーダー育成研修」(8月に終了)に続く、「ベトナム人社員向け(オンライン)基礎研修」(11月実施)の受講者をただいま募集中です。「リーダー育成研修」との違いは、日本企業での勤務経験が浅いベトナム人社員などの皆さんを対象にしていることです。日本企業で働く上での軸となる4つのテーマについて基礎から学んでいただけるカリキュラムとなっています。また、オンラインでの研修ですので、気軽に参加いただくことが可能です。

講師の説明は、ベトナム語通訳を介し、ベトナム語のテキストを用いて実施しますので、日本語に不安がある方でも安心してご参加いただけます。(参加費 有料。プログラムを選択してのご参加も可能)

昨年実施したオンライン研修には、関西圏以外やベトナムの工場など遠方からもご参加いただきました。参加企業の業種も様々で、意見交換などを通じ「とても良い刺激になった」というコメントも頂戴しました。オンラインではありますが、演習や双方向の意見交換の時間を設けています。貴社でいきいきと働くベトナム人社員の皆さんがさらに成長できる場として、ぜひご活用ください。(PREX 佐賀)

お問い合わせ・詳細はウェブサイトから→



*PREXは「ベトナム人社員向け基礎研修」を通じてSDGsの達成に貢献しています。

*写真:ベトナム人リーダー育成研修(2022年8月実施)で三元ラセン管工業株式会社を訪問。

会長の高嶋博氏(右から2番目)に日本企業の人材育成の取り組みについてお話いただきました。

NEWS & TOPICS

世界的なコロナ禍の影響で、PREXでは、途上国対象の研修事業をオンラインを活用して実施しています。その中で、7月に、2年半ぶりの訪日研修が実施されました。日本の水際対策を受けて、来日後の隔離期間の変更など、研修準備の難しさもありましたが、研修に参加した研修員全員が元気に研修を終え、笑顔で帰国されました。ご協力いただきました皆さま、ありがとうございました。PREXへのお問い合わせやご意見、「PREX NOW」への意見・感想をお待ちしています。E-mail: prexhrd-pr@prex-hrd.or.jp

久しぶりのリアル開催。 キルギスやベトナムの皆さんの 見学を受け入れていただきました。



「日本とキルギスの友好につながることで受け入れています」と協力いただいた、株式会社伍魚福の山中社長。



株式会社ベルと株式会社山田製作所は、ウェルカムボードを設置し、以前と変わらず、ベトナム人リーダー育成研修参加者を温かく受け入れていただきました。

新しいPREXメンバーのご紹介



8月1日よりダイキン工業株式会社から出向の
荒木辰太郎です。(左)
9月1日よりサントリーホールディングス株式会社から
出向の田中二郎です。(右)

PREXは、 女性が活躍する事業所です！



PREXは、「女性の能力活用」や「仕事と家庭の両立支援」などの取り組みが評価され、7月22日に第5回大阪府男女いきいき事業者表彰「男女いきいき優秀賞」を受賞しました。PREXは、性別に関わらず全ての人が持てる力を存分に発揮し、活躍できる社会の実現を目指しています。

2019年には、
国際交流部長 瀬戸口恵美子が
大阪商工会議所 サクヤヒメ「活躍賞」受賞。
2021年には、
「大阪市女性活躍リーディングカンパニー」
市長表彰 中小規模企業部門「優秀賞」受賞。

2022年度 研修事業

2022年度は、24件の研修事業の実施を予定しています。9月から10月に実施する研修は以下の通りです。

- JICA中小企業振興政策(B) 遠隔研修 行政官など6名が参加
- 立命館大学経済学部研究科博士課程 (前期) 留学生向け夏期研修 留学生など19名が参加
- JICA投資促進・ビジネス環境整備(A) 遠隔研修 行政官など14名が参加

PREX NOW第269号(2022年10月発行)
編集・発行:公益財団法人 太平洋人材交流センター
専務理事:岡本 謙
〒543-0001 大阪市天王寺区上本町8-2-6
大阪国際交流センター2階 TEL.06-6779-2850
ウェブサイト:<https://www.prex-hrd.or.jp>
E-mail:prexhrd-pr@prex-hrd.or.jp
企画制作:ユナイテッド・トゥモロー